

任地 ヌエバギネア市

首都から東南方向にバスで約5, 6時間のところにある地方都市です。都市といってもすごい田舎ですが。

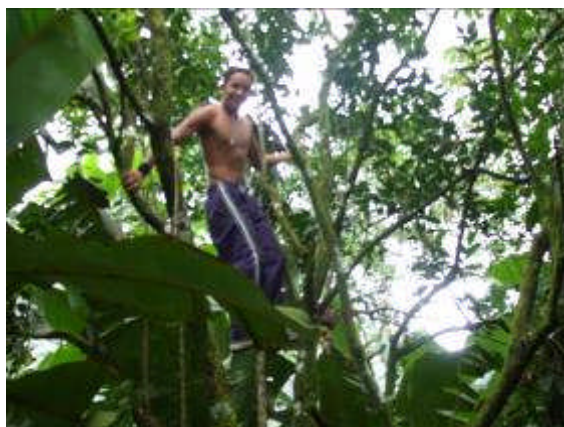


↑道は基本舗装されていません。ので、雨が降るとドロドロになって大変です。ほとんどの家が平屋で、コンクリートブロックを積み重ねるか木の板でできていて、天井はナミナミのトタンです。自分の住んでいる家は、町の中心にありコンクリートでできていて、しっかりしています。

ヌエバギネアでの生活



↑カメラ大好きです。↑



そんなに高く登って大丈夫かい？ ↑



↑取れたてのオレンジは最高にうまい！！



裏庭の林で遊び、そこにある木に登り、果物をとってその場でかじる。そんな生活です。ちょっと足をのばせば、ただただ農場が広がっており、かまど、井戸で生活する人々がいます。でも、日本と似ているところもあります。ゲーム。町にはゲームセンターのような家があり、そこに数台のプレイステーションとテレビがあります。そこでみんなお金を払ってゲームをします。ただプレイステーションのことをみんな“ニンテンドー”と呼びます。プレイステーションはソニーですよ。誰もそんなこと気にしていませんが。

配属先 ルベンダリオ小学校

全校生徒は約500名、教師は12名が、教室が不足しているために午前と午後に分かれて登校してきます。午前は朝7時～12時、午後は12時15分～5時15分でそれぞれ45分の授業を6時間行っています。が、時間通りには進みません、始まりも終わりも、バラバラです。5分も10分もあまり気にしている様子はありません。日本って異常なほど時間に厳しい珍しい国なのかもしれませんね。



←正門です。



←校舎は青と白、ニカラグア国旗と同色です。



←制服も青（紺）と白です。女の子はスカートです。やっぱり子どもたち写真が大好きです。



←教室、ギュウギュウです。椅子が人数分なくて椅子を探して校内をさまよう子どももいます。



←校庭はボコボコで坂になっています。ここで体育をするのは難しいです。体育館なんてないので雨が降ると中止になってしまいます。雨が降ったときにどうするかが最近の活動の悩みです。



←トイレは外に 2 箇所。深い穴の上に便座がある、いわゆるポットン式です。決して清潔とは言えず子どもたちもここで用を足すのを嫌って・・・立小便をしています。“ちゃんとトイレでやりなさい！”いつも言っているのですが。子どもたちのやりたくない気持ち分かるんだけどなあ・・・



←給食は当番で保護者が作ってきます。午前の子どもたちにとっては朝ごはん。午後の子どもたちにとっては昼ごはんといったところでしょうか。各家庭で十分に食べることができない子どもにとっては大切な時間です。



←休憩時間。校庭の木がみんなの遊具です。鉄棒や、ジャングルジムのような遊具は一つもありません。ワイルドです。猿みたいです。

授業編

私は体育の授業を中心に活動しています。



↑ボールを使った授業です。もともとこの学校にはボールすらなかったのですが、前任の協力隊員がボールや縄跳びを協力隊の補助金（必要なものを申請すると購入できる制度？があります）を利用して購入し、授業に取り入れました。



↑輪になって準備体操



ペアを作って引っ張り合い！力試し！↑

↓縄跳びの授業です。スカートじゃ跳びにくいと思うのですが。



みんなで並んで校庭に行きましょう。↑

まず、体操服や運動靴が存在していません。みんな制服、革靴です。何人かはハーフパンツ、T シャツに着替えてくれるのですが、なかなか全員というわけにはいきません。まず、先生がスカートというのが問題だと思います。着替えてもらうように声をかけているところです。

前任者の活動によって以前よりずっと体育の授業らしくなってきましたし、正直、想像していた以上に先生方頑張っておられます。そんなところで現在考えているのは雨の日の体育。現在は雨が降ると中止になってしまいます。体育館もなく教室も狭い教室になると、ほんとに動けるスペースがありません。が、任地ヌエバ・ギネアは雨季（5，6月～12月、1月）に他に比べて特に雨が多いんです。中止になっても仕方がない環境だとも思います。が、そんな中、いかにして体育をしていくかが現在の課題です。子どもたちの“ねえ、先生！今日体育ある？いつ体育やる？”という期待の声に答えられるようにグッドアイデアを浮かばせようと思っています。

年に3回の体育測定



↑ 胸囲を測るとき服を着たまま、身長はメジャーをこのように使って測っています。はたして正確に測ることができているのでしょうか。改善の余地があると思います。すっごくアバウトです。



↑腹筋、腕立て伏せ。制服のままです。女の子はスカートなのでやりづらそうでした。体育館はないので教室で行います。土足なのでちょっと汚いです。こんなときやっぱり体操服が必要だと思います。



←日本の文化も紹介します。7月に七夕を紹介しました。子どもたちはどんな願いごとをかいたのでしょうか。“先生！この願い事はいつ叶うの？”“誰が叶えてくれるの？”この質問にはどう答えていいのか困ってしまいました。



←日本から届けられた文房具を配りました。自分でしたことだったのですが、いろいろなことを考えさせられました。他の国から多くの援助を受けているニカラグアの人々。一方的に与えたり、受けたりするだけで終わってしまわないようにするにはどうすればよいのでしょうか。与えれば喜ぶだろうという簡単な気持ちだったのですが……。それをどのように広げ、どこにつなげていけばよいのでしょうか。

食べ物編



↑左はナカタマルというジャガイモをすりつぶしたものやトウモロコシの粉の塊です。ほんの少しの野菜と鳥肉や豚肉が入いて、それらをバナナの葉っぱで包んで蒸したものです。個人的には脂っこすぎて好きではありません。主に日曜日の朝に食べられています。右はある日の朝食、ガジョピントという豆ご飯とアボガド、食パン、チーズです。



←各家庭にはこんなガスコンロがあります。ガスコンロではなくかまどの家庭も多いです。左がガジョピント、右側でバナナのスライスを油で揚げています。カリカリのできたてはとても美味しいです。



↑魚もありますが、刺身とかにはせず、トウモロコシの粉の衣をつけて全部丸ごとフライにしてしまいます。トマトのソースをかけたりして食べます。この写真では薪で料理でしています。キャンプの時みたいです。

この他にもまだまだありますが、また別の機会に紹介します。が、基本的にトウモロコシが多く用いられています。“ニカラグア人はトウモロコシの息子”という言葉があるほどです。日本人だったら“日本人は米の息子”といったところでしょうか。また、魚よりは鶏肉、牛肉、豚肉がよく食べられています。任地ヌエバ・ギネアでの食事はバリエーションは多いとはいえ、約一年がたった今ちょっと飽きてきたというのが正直な感想です。日本での食事を考えると、確かに、日本料理に限らず、いろんなものが好きなときに、好きなだけありました。贅沢なのかなんなのか。日本食が恋しい今日このごろです。